2026 年 2 月 19 日

兵庫県明石市
日揮ホールディングス株式会社
株式会社レボインターナショナル
合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

明石市と廃食用油の資源化促進に係る連携協力協定を締結

～明石市で回収した廃食用油が SAF に～

兵庫県明石市（市長：丸谷 聡子、以下「明石市」）、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長兼社長 CEO 佐藤 雅之、以下「日揮 HD」）、株式会社レボインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也、以下「レボインターナショナル」）および、合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表者：髙田 岳志、以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」）は、持続可能な航空燃料 SAF（Sustainable Aviation Fuel、以下「SAF」）の原料となる使用済み食用油（以下「廃食用油」）の資源化促進を図るため、「廃食用油の資源化促進に係る連携及び協力に関する協定」（以下「本協定」）を 2026 年 2 月 18 日に締結し、同日、明石市役所内にて協定締結式を執り行いました。

また、明石市は家庭などで発生する廃食用油を原料とする SAF を用いて、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクト「Fry to Fly Project」に同日付で参加します。

協定締結式の様子（左から SAFFAIRE SKY ENERGY の西村勇毅最高執行責任者 COO、明石市の丸谷聡子市長、レボインターナショナルの越川哲也代表取締役 CEO）

【協定の趣旨】

明石市、日揮 HD、レボインターナショナルおよび SAFFAIRE SKY ENERGY は、相互に連携・協力し、SAF の原料となる廃食用油回収の拡大を図るため、本協定に基づいて廃食用油回収の取組みを進め、脱炭素・資源循環型社会の実現を目指します。

【協定の主な内容】

（1）廃食用油の回収に関すること
（2）廃食用油を用いた SAF 等の製造に関すること

（3）本再資源化を広く情報発信する機会の提供に関すること
（4）その他、本協定の趣旨を実現するために必要なこと

【協定に基づく各社役割】

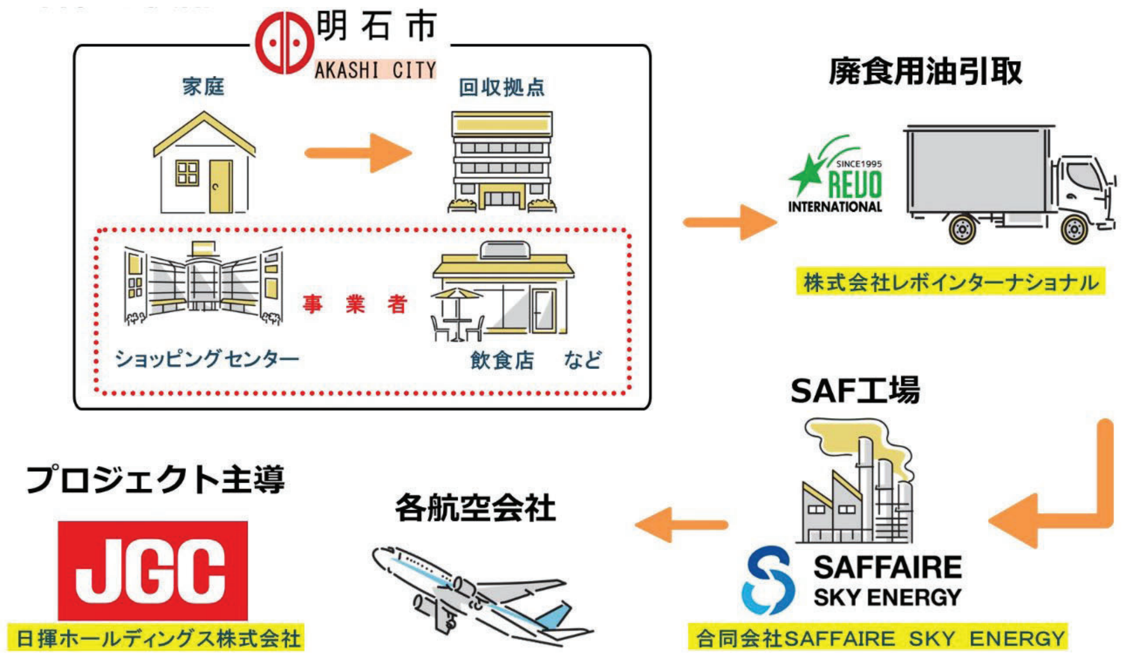
明　石　市	⑴ 市内 11 ヵ所の拠点及び有人拠点回収による家庭系廃食用油及び公共施設から排出される廃食用油を回収 ⑵ 市内の飲食店等の事業者に本プロジェクトへの参加を呼び掛け、事業系廃食用油の SAF への再資源化を促進 ⑶ 廃食用油の SAF への再資源化に関する広報
日揮 HD	⑴ SAF、資源循環の重要性の発信 ⑵ 廃食用油を SAF の製造に利用するための連携調整
レボインターナショナル	⑴ 明石市の回収した廃食用油を製造施設へ収集運搬 ⑵ 市内事業者から廃食用油を回収し、製造施設へ運搬
SAFFAIRE SKY ENERGY	⑴ SAF の製造

【協定に基づく具体的な取り組み】

明石市内の市庁舎や市民センターをはじめとする公共施設 11 箇所、及び有人拠点回収によって明石市が回収した家庭系廃食用油、並びに市内給食センター等の公共施設から排出される廃食用油をレボインターナショナルが収集し、国内初の SAF 大規模生産を行う SAFFAIRE SKY ENERGY のプラント（2024 年 12 月完工）へ運び、国産 SAF の原料として活用します。

なお、本協定に基づいて明石市が SAF の原料向けに提供する廃食用油は年間でおよそ 40,000L を見込んでいます。

また、明石市では循環型社会の実現のため、『ゼロ・ウェイストあかし』を合言葉に、ごみの減量・再資源化の推進に向けた施策を実施しています。廃食用油の回収事業拡大を図るため、市内の事業者にも呼びかけを実施し、飲食店や社員食堂などから排出される廃食用油についても、SAF への再資源化を促進する取組みなどを予定しています。



【SAF（Sustainable Aviation Fuel）について】

バイオジェット燃料を含む持続可能な航空燃料。原料として廃食用油、サトウキビなどのバイ

オマス燃料や都市ごみ等を用いて製造するもので、航空機や給油設備の変更をせずとも利用でき、製造から使用までのライフサイクル全体で約84%の CO2 排出削減効果が得られます。
参考：国土交通省「空のカーボンニュートラル SAF の導入促進　航空機運航分野の脱炭素化」
https://www.mlit.go.jp/koku/jigyousha.html#saf

【国内初の SAF 大規模生産事業の概要】

日揮 HD、レボインターナショナルおよびコスモ石油株式会社は、共同で SAF のサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2021 年に NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）の「国産廃食用油を原料とする SAF 製造サプライチェーンモデルの構築」助成事業に採択※されました。2022 年 11 月に新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立。国内唯一の国産 SAF 大規模製造設備は 24 年 12 月に完工し、25 年 4 月から主要エアラインなどに国産 SAF の供給を開始しました。

※NEDO ホームページ：https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html

SAF 製造装置

SAF の原料である廃食用油受け入れ施設

【Fry to Fly Project について】

「Fry to Fly Project」は、家庭や店舗などで発生する使用済み食用油を原料とする SAF を用いて、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。プロジェクトは日揮 HD が発起人となって設立し、設立主旨に賛同する企業・自治体・団体が、家庭や飲食店など身近なところで発生する廃食用油の提供を通じて、日本国内における資源循環の促進に直接参加しています。

特設ホームページ：https://www.jgc.com/jp/esg-hsse/initiative/fry-to-fly/